

**第30回**  
**福島県児童・生徒木工工作コンクール**  
**表彰式**

◇とき 平成17年11月19日(土)  
午前10時30分～

◇ところ ふくしまバイオマスフェア会場 ステージ  
(ビッグパレットふくしま多目的ホール)

**福島県木材青壮年協会**

---

# 式次第

## 表彰式

1. 開 会
2. あいさつ
3. 来賓紹介
4. 講 評
5. 表 彰
6. 祝 辞
7. 閉 会

## 記念撮影

## 出席者名簿

(敬称略)

### 二 来 賓

福島県農林水産部	部 長	松 本 友 作
〃 森林林業領域県産材特産グループ	参 事	荒 井 賢 治
関東森林管理局福島森林管理署	署 長	由 田 幸 雄
福島民報社	常務取締役郡山本社代表	菅 原 征 彦
福島県木材協同組合連合会	会 長	小 松 吉 昭

### 三 来 賓

福島県木材青壮年協会	会 長	風 間 良 一
------------	-----	---------

### 受 賞 者

福島県知事賞	第1部	穴 澤 快	穴 澤 惟
〃	第2部	西 村 優 希	
福島県教育委員会教育長賞	第1部	小 幡 俊 貴	
〃	第2部	根 本 新 大	
関東森林管理局長賞		野 木 宏 晃	
福島民報社長賞		山 崎 美奈子	
福島県木材協同組合連合会長賞		廣 木 勇 紀	
NHK 福島放送局長賞		阿 部 里佳子	
ラジオ福島社長賞		石 田 ひかり	
福島テレビ社長賞		須 田 美奈子	
日本木材青壮年団体連合会長賞		穴 沢 彩 香	
福島県木材青壮年協会	第1部	猪 股 彩	
〃	第2部	吉 田 朗	

## 経過説明

### 審査内容

1. 出展作品数 総数1, 109点  
さらに、各支部の予選審査により74点が最終審査に出展された。
2. 審査会 平成17年10月21日郡山市において次の審査委員により別紙「入賞者名簿」のとおり各賞が決定された。

(敬称略)

	役 職 名	氏 名
審査委員長	福島大学助教授	新井 浩
審査委員	福島県農林水産部県産材特産グループ参事	荒井 賢治
〃	関東森林管理局福島森林管理署次長	児山富士男
〃	田村郡小野町立夏井第一小学校教諭	佐藤 浩行
〃	福島民報社郡山本社総括本部長兼事業部長	浜津三千雄
〃	NHK 福島放送局郡山支局長	千葉 健一
〃	福島県木材協同組合連合会専務理事	藁谷 憲治
〃	NHK 福島放送局いわき支局長	下川 悦
〃	福島県木材青壮年協会長	風間 良一

### その他

3. 全国コンクールへの参加  
上位入賞作品については、平成18年3月開催の全国コンクールに出展し、全国入賞した作品については6月3日福島県いわき市で開催される日本木材青壮年団体連合会全国会員大会において表彰される。
4. 作品の展示及び展示期間
  - (1) 平成17年10月22日(土)～23日(日)  
於：福島県林業研究センター(林業祭「ふくしま木材フェア」会場)
  - (2) 平成17年11月19日(土)～20日(日)  
於：ビッグパレットふくしま(「ふくしまバイオマスフェア」会場)

---

<ツリーハウス>は、樹木の上に隠れ家のような建物を載せた作品です。建物とともに空中吊り橋のような構造物や物見台のような構造物があり、一度はすんでみたくなるような夢の家を表しているようです。全体に動きと変化がありながら、かたまりとしての強さもあるところが評価されました。

<HOME>は、枝を組み合わせることでHOMEと描いた、額のような作品です。3体の顔の表現が実に丁寧に表されていました。木材の色の変化にも気を配ってデザイン的にしつかりしていました。

<動物たちのバカンス>は、かんなくずや、木の肌や、木っ端など普通なら捨ててしまうところを作者の感性で再利用した作品で、その利用の仕方が評価されました。たくさんの動物たちがバカンスを楽しんでいる様子をうまく表現していました。

<恐竜・ティラノザウルス>は流木のような材木を、恐竜に見立てた作品です。首を上にもたげたティラノザウルスの様子が生き生きとした動きを感じさせています。特に胴体と頭部の様子が優れています。

<あじさい>は小さいながら、あじさいの花や葉をかんなくずで表現した作品で、繊細で可憐な様子は本物のあじさいよりも美しくらいでした。かんなくずで花や葉を表現した独創性が評価されました。

<トトロの家>はしっかりと技術で建物や建物周りのブランコなどが表された作品です。作者がじっくりと丁寧に取り組んだ様子が表れているところが評価されました。

<りゅう>はたくさんの素材が使われた作品で龍の頭部が表現されています。一見すると素材の感じが強すぎて龍であることが解らないのですが、よく見ると実に力強く龍の頭部は表されていることが解ります。

受賞作品の講評は以上です。

最後に来年への課題として皆さんに考えてもらいたいことは、自分の造りたいものをさらに熱中して造ってもらいたいということです。時間をかけてじっくりと取り組めば取り組むほどいろいろなアイデアが生まれてきます。いろいろなアイデアが出れば出るほどさらに造ることが面白くなります。

そうしているうちに始めの考えを飛び越えた、びっくりするような作品が生まれてきます。それは作者自身を大きな感動で包んで大きく成長させながら、その作品を見る人も巻き込んで、何かすばらしいメッセージを伝えてくれると思います。

来年も皆さんの作品と出会えることをとても楽しみにしていますので、また多くの力作持って来てほしいと思います。

以上

☆☆第30回福島県児童・生徒木工工作コンクール入賞作品☆☆

最優秀賞

福島県知事賞

(敬称略)



「スーパーオーケストラ」  
いわき市立中央台東小学校  
3年 穴澤 快・3年 穴澤 惟



「トラ」  
いわき市立上遠野小学校  
6年 西村 優希

優秀賞

福島県教育委員会教育長賞

関東森林管理局長賞



「流木のカワセミ」  
いわき市立平第一小学校  
4年 小幡 俊貴



「おそいかかるワニ」  
いわき市立中央台東小学校  
6年 根本 新大



「山おくの山小屋」  
いわき市立好間第四小学校  
5年 野木 宏晃

福島民報社長賞

福島県木材協同組合連合会長賞

NHK福島放送局長賞



「大都会にきょうりゅうとゴジラ」  
いわき市立泉北小学校  
6年 山崎 美奈子



「夢のツリーハウス」  
いわき市立貝泊小学校  
6年 廣木 勇紀



「動物たちのバカンス」  
いわき市立平第一小学校  
5年 阿部 里佳子

ラジオ福島社長賞



「HOME」  
郡山市立日和田小学校  
2年 石田 ひかり

福島テレビ社長賞



「恐竜・ティラノザウルス」  
福島市立野田小学校  
5年 須田 美奈子

日本木材青壮年団体連合会長賞



「あじさいのさいたころ」  
田島町立田島小学校  
4年 穴沢 彩香

福島県木材青壮年協会会長賞



「トトロの家」  
田島町立田島小学校  
4年 猪股 彩



「大空を羽撃く竜」  
いわき市立小名浜東小学校  
6年 吉田 朗

